様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

大野町南部地区

平成28年3月

岐阜県大野町

※記入にあたっての留意事項（このページは、提出の際には添付する必要はありません。）

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング（一部の結果）・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。
それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段　階	内　容	時　期	記入欄の色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。

3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄（枠）を拡張するなどして記入して下さい。

4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい

例1）数値等の軽微な修正
【修正前】 〇〇整備事業　面積　~~2,300㎡~~
【修正後】　2,800㎡
例2）文章の修正
【修正前】・・・するものとし、特に、●●館のイベント等に関する~~情報を発信していくものとする。~~
【修正後】　特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	大野町	地区名	大野町南部地区		面積	490ha
交付期間	平成25年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	118	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】本庄下磯1号線　【公園】道の駅公園　【高次都市施設（観光交流センター）】道の駅
	提案事業	【まちづくり活動推進事業】道の駅ワークショップ

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】観光案内板、備蓄倉庫、耐震性貯水槽、下磯三重塔PR広場 【高質空間形成施設】五之里下磯1号線歩道整備、加納下磯2号線花田川堤防散策道整備、本庄下磯1号線散策道整備	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	なし
	提案事業	【地域創造支援事業】ガイドマップの作成、レンタサイクルポート、スタンプラリーの開催 【事業活用調査】事業効果分析調査事業	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	なし
新たに追加した事業	基幹事業	【道路】本庄下磯1号線	道の駅へのアクセス道路として位置付け整備するため。	なし
	提案事業	－	－	－

交付期間の変更	当　初	平成25年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	指標、数値目標に変更はないが、事後評価のフォローアップについては次期計画の進捗に合わせて行いたい。
	変　更	平成25年度～平成27年度		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	道の駅の年間利用者数		人/年	0	平成24年度	370,000	平成27年度	－		－	あり	－	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	平成31年6月
											なし	－		
指標2	防災拠点の住民満足度		%	9	平成24年度	20	平成27年度	－		－	あり	－	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	平成31年6月
											なし	－		
指標3	バラまつり来訪者数		人/年	67,100	平成24年度	80,000	平成27年度	－	44,000	△	あり	－	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	平成31年6月
											なし	●		
指標4	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
											－	－		
指標5	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
											－	－		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	－		－	－	－			－	－				－	－
その他の数値指標2	－		－	－	－			－	－				－	－
その他の数値指標3	－		－	－	－			－	－				－	－

4）定性的な効果発現状況

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	無し	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	【提案事業】 ＜まちづくり活動推進事業＞ 道の駅ワークショップの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	抽出した意見を参考に道の駅計画を進めていきたい。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	無し	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

都市再生整備計画　事後評価シート
（添付書類）

（1）成果の評価

添付様式1－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（完成状況）
添付様式2－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
添付様式2－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）により計測される効果発現の計測
添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

（2）実施過程の評価

添付様式3－①　モニタリングの実施状況
添付様式3－②　住民参加プロセスの実施状況
添付様式3－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

（3）効果発現要因の整理

添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制
添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
~~添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制
添付様式5－②　まちの課題の変化
添付様式5－③　今後のまちづくり方策
添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見
添付様式5－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
添付様式6－参考記述　今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

（6）まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8　まちづくり交付金評価委員会の審議

（7）有識者からの意見聴取

~~添付様式9　有識者からの意見聴取~~

（1）成果の評価

添付様式１－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他（　目標年度　）	●		目標年度：平成28年度	目標年度：平成27年度	事業期間変更（短縮）のため ※本地区は平成27年度で完了し、平成28年度からは次期計画をスタートさせ継続的に事業を実施する予定である

添付様式１－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	本庄下磯1号線	－	－	37	L＝350m（H21～H23）	道の駅へのアクセス道路として位置付け整備するため。	影響なし	－	H30 ※次期計画にて
公園	道の駅公園	135	A=5,000㎡（H26～H28）	7	A=5,000㎡（H26～H27）		影響なし	－	H30 ※次期計画にて
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	観光案内板	7	H28	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H30 ※次期計画にて
地域生活基盤施設	備蓄倉庫	8	H28	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H30 ※次期計画にて
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽	20	100t（H27）	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H30 ※次期計画にて
地域生活基盤施設	下磯三重塔PR広場	10	H26～H27	－	－	下磯三重塔は指定文化財施設であり、地権者との協議が困難となったため、事業削除する	影響なし	－	－
高質空間形成施設	五之里下磯1号線歩道整備	80	L=1,700m（H26～H27）	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（0期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H31 ※次期計画にて
高質空間形成施設	加納下磯2号線花田川堤防散策道整備	10	L=1,100m（H27）	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（1期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H31 ※次期計画にて
高質空間形成施設	本庄下磯1号線散策道整備	10	L=680m（H27）	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H31 ※次期計画にて
高次都市施設	道の駅	700	A=25,000㎡（H25～H28）	73	A=25,000㎡（H25～H27）		影響なし	－	H30 ※次期計画にて
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業（都市再生）									
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式１－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
地域創造支援事業	ガイドマップの作成	2	ガイドマップの作成	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H31 ※次期計画にて
	レンタサイクルポート	3	貸自転車の購入・レンタサイクルポート整備	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H30 ※次期計画にて
	スタンプラリーの開催	3	道の駅観光客のスタンプラリーの実施	－	－	平成28年度の次期計画（大野町南部（2期）地区）のなかで、事業を実施するため、本地区から事業削除する。	影響なし	－	H31 ※次期計画にて
事業活用調査	事業効果分析調査事業	1	事業評価	－	－	当初、委託事業を想定していたが、委託せずに実施することとしたため、事業を削除する。	影響なし	－	－
まちづくり活動推進事業	道の駅ワークショップの開催	1	ワークショップの実施	1	ワークショップの実施			●	－

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

（参考）関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費 当初計画	事業費 最終変更計画	事業期間 当初計画	事業期間 最終変更計画	進捗状況及び所見	備考

添付様式２－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	目標値（ウ）	目標年度	数値（エ）			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	道の駅の年間利用者数	人/年	道の駅の年間利用者数をレジカウントにて計測（平成30年度開駅後より）	－	－	－	24	370,000	27	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 見込み	－	事後評価	－		
指標2	防災拠点の住民満足度	%	防災拠点に対するアンケートを実施し、満足度を調査	－	－	9	24	20	27	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 見込み	－	事後評価	－		
指標3	バラまつり来訪者数	人/年	バラまつり期間中（5月）におけるバラ公園来訪者数を計測	－	－	67,100	24	80,000	27	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 ● 見込み	44,000	事後評価	△		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			

指　標	目標達成度〇△×の理由（達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む）	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
指標1	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	
指標2	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	
指標3	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	
指標4		
指標5		

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。
※2　目標達成度の記入方法
〇：評価値が目標値を上回った場合
△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式２－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	数値（ウ）			本指標を取り上げる理由	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
その他の数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式２－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

（2）実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式３－①　モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－②　住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
【提案事業】 ＜まちづくり活動推進事業＞ 道の駅ワークショップの開催	予定どおり実施した	●	平成25年度に5回実施し、1回につき約30名程度の方に参加いただいた。 町民目線での利用者ニーズ等が把握できた。	抽出した意見を参考に道の駅計画を進めていきたい。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			ⅰ．体制構築に向けた取組内容	ⅱ．まちづくり組織名：組織の概要	
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				

（3）効果発現要因の整理

添付様式４－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織（まちづくり交付金事後評価検討チーム）	【産業建設部】　部　長：加藤忠士 【建設水道課】　課　長：加納秀男 【建設水道課】　課長補佐：後藤崇 【建設水道課】　主　任：神谷涼介	平成27年12月4日	産業建設部建設水道課

添付様式４－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標（その他）	
指　標　名		道の駅の年間利用者数		防災拠点の住民満足度		バラまつり来訪者数		なし	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	【道路】本庄下磯1号線	○	※道の駅等のハード整備が未完了であり、2期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	○	※道の駅等のハード整備が未完了であり、2期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい	○	※道の駅等のハード整備が未完了であり、2期計画で継続的に事業を実施し、目標値を達成したい		
	【公園】道の駅公園	◎		◎		○			
	【高次都市施設】道の駅	◎		◎		◎			
提案事業	【まちづくり活動推進事業】道の駅ワークショップの開催	○		○		○			
関連事業	なし								
今後の活用									

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織（まちづくり交付金事後評価検討チーム）	【産業建設部】　部　長：加藤忠士 【建設水道医課】　課　長：加納秀男 【建設水道課】　課長補佐：後藤崇 【建設水道課】　主　任：神谷涼介	平成27年12月4日	産業建設部建設水道課

添付様式5－②　まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
・インターチェンジの整備による町全体の交流人口の増加に伴い、休憩施設を含む道の駅の整備が必要である。			
・(仮称)大野神戸インターチェンジ周辺には地域住民と観光客が交流できる施設の整備が必要である。			
・災害時における町南部の防災拠点となりうる施設整備が必要である。			
・町内に点在する観光施設を繋ぐ、周遊ルートの整備が必要である。			
・町内の観光施設及び文化施設のPR強化が必要である。			

道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を評価し、課題の改善状況を分析する予定である

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式５－③　今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策			

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改　善　策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策			

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式５－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

✔	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
✔	事業の実施過程の評価（添付様式３）を再確認した。
✔	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式４－②）を再確認した。
✔	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式４－③）を再確認した。
✔	残された課題や新たな課題（添付様式５－②）を再確認した。

添付様式５－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式５－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式２－①、２－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、１年以内の達成見込みは添付様式２－①、２－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、１年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指　標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
													予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	道の駅の年間利用者数	人/年	0	H24	370,000	H27	確定		－	－	あり		平成31年6月	道の駅の年間利用者数をレジカウントにて計測 （平成30年度開駅後より）	次期計画（大野町南部（2期）地区）完了後
							見込み				なし	●			
指標2	防災拠点の住民満足度	%	9	H24	20	H27	確定		－	－	あり		平成31年6月	防災拠点に対するアンケートを実施し、満足度を調査	次期計画（大野町南部（2期）地区）完了後
							見込み				なし	●			
指標3	バラまつり来訪者数	人/年	67,100	H24	80,000	H27	確定	●	44,000	△	あり		平成31年6月	平成31年度のバラまつり期間中（5月）におけるバラ公園来訪者数を計測	次期計画（大野町南部（2期）地区）完了後
							見込み				なし	●			
指標4							確定				あり				
							見込み				なし				
指標5							確定				あり				
							見込み				なし				
その他の数値指標1	なし						確定								
							見込み								
その他の数値指標2							確定								
							見込み								
その他の数値指標3							確定								
							見込み								

添付様式６　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を評価し、課要因分析を行う予定である	
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	地域住民とのワークショップ開催等により、住民と協働してまちづくりを考えるきっかけとなった。	住民等の参画、協働のまちづくりを推進することが、効果的な事業成果に有効である。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式６－参考記述　今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

大野町南部（２期）地区（平成２８年度～平成３１年度実施予定）

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	－	－	－	担当課への電話、FAX、電子メール	産業建設部 建設水道課
広報掲載・回覧・個別配布	－	－	－		
説明会・ワークショップ	－		－		
その他	－		－		

道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を評価し、公表する予定

住民の意見	

（6）都市再生整備計画　評価委員会の審議

添付様式8　まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員					

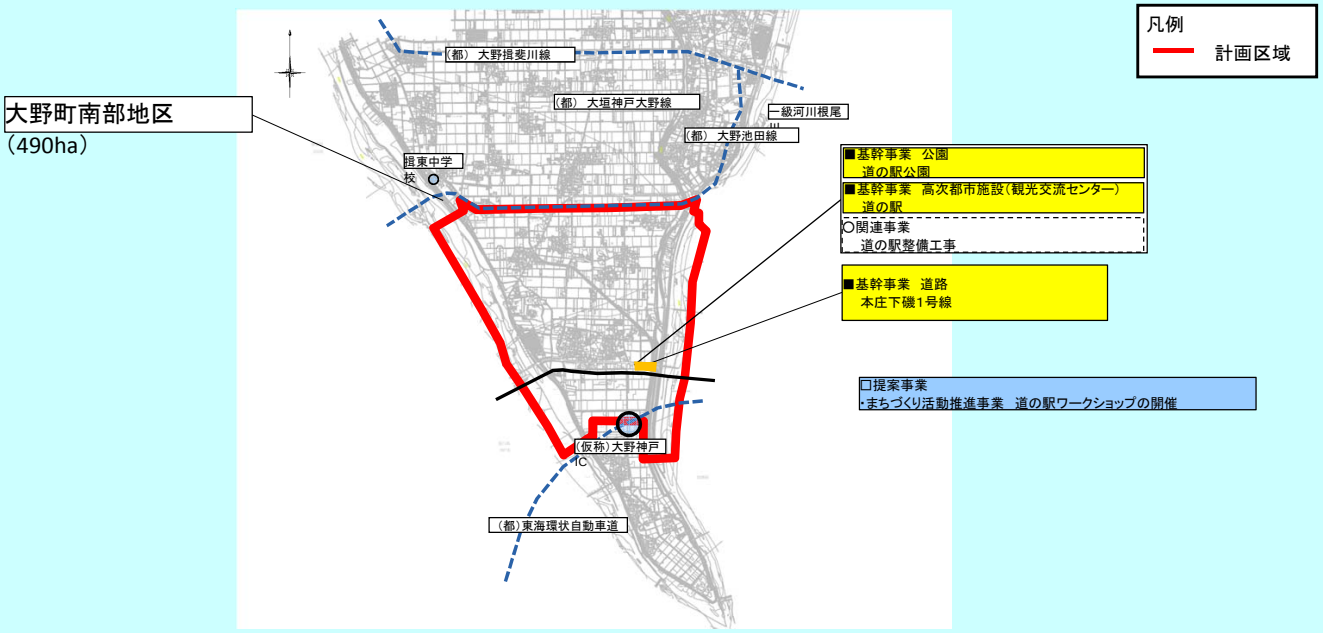
審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を評価し、評価委員会にて審議する予定である

※1　審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

様式２－２　地区の概要

大野町南部地区（岐阜県大野町）　都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大野町の観光拠点やアクセス条件を生かした交流の活性化による、活気と魅力にあふれたまちづくり】 目標1　地域の交流拠点となる道の駅の整備を行い、観光客及び地域住民の交流の場の創出による活力あるまちづくり 目標2　防災設備の整備を行い、町南部地域の防災機能を強化した安全安心なまちづくり 目標3　観光拠点整備に伴う周辺の一体整備による、連続性のある効率的なまちづくり	道の駅の年間利用者数	単位：人/年	0	H24	370,000	H27	－	
	防災拠点の住民満足度	単位：%	9	H24	20	H27	－	
	バラまつり来訪者数	単位：人/年	67,100	H24	80,000	H27	44,000	△



まちの課題の変化	道の駅等のハード整備が未完了であり、次期計画で継続的に事業を実施し、目標値を評価し、課題の改善状況を分析する予定である
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	

都市再生整備計画（第2回変更）

大野町南部地区

岐阜県　大野町

平成27年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	大野町（おおの ちょう）	地区名	大野町南部地区（おおの ちょうなんぶ ちく）	面積	490 ha

計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 27 年度	交付期間	平成 25 年度 ～ 平成 27 年度

目標

大野町の観光拠点やアクセス条件を生かした交流の活性化による、活気と魅力にあふれたまちづくり

目標1：地域の交流拠点となる道の駅の整備を行い、観光客及び地域住民の交流の場の創出による活力あるまちづくり

目標2：防災設備の整備を行い、町南部地域の防災機能を強化した安全安心なまちづくり

目標3：観光拠点整備に伴う周辺の一体整備による、連続性のある効率的なまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・町南部では、(仮称)大野神戸インターチェンジが竣工・開通予定であり、地域間交流の促進や工場等の新たな立地の可能性が高まっている。
・平成25年度中に都市計画道路大垣神戸大野線が県道に昇格し、インターチェンジ周辺から中心市街地までの道路整備が開始される予定である。
・町内の観光施設及び文化施設を案内（PR）する施設が少なく、観光施設を繋ぐ周遊ルートが確立されていない。
・町内には観光施設としてのポテンシャルを持つ施設が多く点在するが、PR不足等により集客力を発揮できていない。
・(仮称)大野・神戸インターチェンジ周辺には、地域交流の拠点となる施設がない。
・歩道の整備率が低く、住民や観光客が安心して歩ける道路が少ない。
・町南部では、災害時の防災拠点となりうる施設が不足している。
・町内には春から秋にかけてバラを楽しめるバラ公園が整備されている。

課題

・インターチェンジの整備による町全体の交流人口の増加に伴い、休憩施設を含む道の駅の整備が必要である。
・(仮称)大野神戸インターチェンジ周辺には地域住民と観光客が交流できる施設の整備が必要である。
・災害時における町南部の防災拠点となりうる施設整備が必要である。
・町内に点在する観光施設を繋ぐ、周遊ルートの整備が必要である。
・町内の観光施設及び文化施設のPR強化が必要である。
・本地区計画を平成27年度で終了するため、交付期間と全体事業費を変更する必要がある。また平成28年度より新規地区によって事業を継続的に実施する必要がある。

将来ビジョン（中長期）

・町内の歩道のネットワーク整備を進める。
・(仮称)大野・神戸インターチェンジの整備にあわせ、活発な地域間交流が行えるまちづくりを目指す。
・地域の文化、特性を生かした観光の促進を行う。
・住民がまちづくりの主役となるよう、計画実施過程において住民の行政参加を進める。
・災害に強いまちづくりを目指し、防災設備整備率の向上を目指す。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
道の駅の年間利用者数	人/年	道の駅の年間利用者数	目標1：観光客及び地域住民の交流の場の創出により、賑わいのあるまちを目指す。	0	24	370,000	27
防災拠点の住民満足度	%	防災拠点に対するアンケートを実施し、満足度を調査	目標2：防災拠点の整備を行い、防災に強い安全安心なまちづくりを目指す。	9	24	20	27
バラまつり来訪者数	人	バラまつり期間中（5月）におけるバラ公園来訪者数	目標3：観光施設のPR強化及び施設へのアクセスルート整備を行い、観光者数の増加を目指す。	67,100	24	80,000	27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・整備方針１（観光客及び地域住民の交流の場の創出による活力あるまちづくり）	[基幹事業]
・観光交流センター（道の駅）を整備し、観光客及び地域住民の交流拠点とする。 ・道の駅に再生可能エネルギー発電施設を整備し、エコタウンの先駆けとする。 ・道の駅に観光案内板や観光案内所を設置し、地域住民と観光客の情報収集や交流促進につなげる。 ・道の駅にイベント広場（公園）を整備し、交流を深めるスペースを提供する。 ・駐車場を整備し、車で訪れる観光客が気軽に町内で休憩できるようにする。	・高次都市施設（観光交流センター（道の駅）） ・公園（道の駅公園） [提案事業] ・まちづくり活用推進事業（道の駅ワークショップの開催） [関連事業] ・道の駅整備工事 ・東海環状自動車道整備工事 ・主要地方道　岐阜巣南大野線　道路改良工事
・整備方針２（防災機能の強化による安心・安全なまちづくり）	[基幹事業]
・道の駅に防災施設を整備し、地域の防災拠点とする。	・道路(本庄下磯１号線) ・公園(道の駅公園) [関連事業] ・道の駅整備工事
・整備方針３（周遊・散策路の整備による周遊性のある一体的なまちづくり）	[基幹事業]
・歩道整備により観光客や住民が安全に周遊、散策できる道路をつくる。 ・歩道整備により児童が安全に登校できる道路をつくる。	・道路(本庄下磯１号線)

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	118	交付限度額	47.2	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路		本庄下磯1号線	大野町	直	250m	26	26	26	26	37	37	37		37
公園		道の駅公園	大野町	直	5,000㎡	26	27	26	27	7	7	7		7
古都及び緑地保全事業		ー												
河川		ー												
下水道		ー			ー									
駐車場有効利用システム		ー			ー									
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設														
高次都市施設(観光交流センター)		道の駅	大野町	直	25,000㎡	25	27	25	27	73	73	73		73
既存建造物活用事業		ー												
土地区画整理事業		ー												
市街地再開発事業		ー												
住宅街区整備事業		ー												
地区再開発事業		ー												
バリアフリー環境整備促進事業		ー												
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型	ー												
	沿道等整備型	ー												
	密集住宅市街地整備型	ー												
	耐震改修促進型	ー												
街なみ環境整備事業		ー												
住宅地区改良事業等		ー												
都心共同住宅供給事業		ー												
公営住宅等整備		ー												
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										117	117	117	0	117…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業														
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	道の駅ワークショップの開催	大野町南部地区	大野町	直	ー	25	25	25	25	1	1	1		1
		ー												
合計										1	1	1	0	1…B

合計(A+B)	118

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
道の駅整備工事	下磯地内	岐阜県	国土交通省	－		○			H25	H28	－
主要地方道　岐阜巣南大野線　道路改良工事	下磯地内	岐阜県	国土交通省	L=120m		○			H24	H25	－
東海環状自動車道整備工事	下磯地内	国	国土交通省	－	○				H24	H32	－
合計											0